

個人質問

5日間にわたり、次の14人の議員が質問しました。
ここでは、その一部をお知らせします。
この記事は各議員が作成しています。

護憲市民会議

小林敏枝

●事業仕分け

事業仕分けの結果削減された約1億9千万円という金額は、市長が予定した削減額なのか。また、柏市には800近い事業がある。5年くらいをめどにしてすべての事業を仕分けしてはどうか。

削減額については特に目標を設定しなかったが、結果としては市の財政に大きな影響があると認識している。すべての事業を仕分けの対象とするのは難しいか。

●私立保育園の入れ

要領によれば入札業者は9社必要だが、実際に入札した業者は7社で、2社については辞退したような扱いで書類を提出

末永康文

●新しく地域づくり推進部を

設置するが、なぜホームタウン推進室と国際交流室の名称をなくすのか。

組織の枠にとらわれることなく、柏の宝を外にアピールする方法を考えてもらうためである。

柏清風

助川忠弘

●個人情報保護と名簿作成

自治会等での名簿作成について、個人情報保護の正しい知識を伝え、市民活動に役立つ名簿作成を支援するよう、条例化も含めて検討してはどうか。

個人情報保護制度の本来の趣旨のさらなる周知に努めると同時に、条例化の必要性も含めて今後検討していきたい。

●柏の魅力伝える冊子作成

住みたい、住み続けたいと思える柏の強みや特色、独自政策などを盛り込んだ、リーフレットを作成してはどうか。

魅力を伝えるリーフレットの作成は大変有効だが、現状は観光マップや文化財マップなどそれぞれの部署が単独で作成しており、ひとつにまとめたものがない。これから市民との協働の中で作成していきたい。

魅力を伝えるリーフレットの作成は大変有効だが、現状は観光マップや文化財マップなどそれぞれの部署が単独で作成しており、ひとつにまとめたものがない。これから市民との協働の中で作成していきたい。



大津ケ丘一小裏の交差点

●大学コンソーシアム

12月に提案した政策コンテントについて、実施したと聞いているが、どのようなものだったか。

11大学から49名の学生の参加があった。さまざまな提案がなされ、9割以上の参加者が満足したとのことであった。

●大津ケ丘一小の通学路

小学校裏の横断歩道のない交差点に、看板や路面標示などの安全対策を行ってほしい。

学校の指導とあわせ、横断

しいと思うが、長期的な計画を立てたいと考えている。

●部の再編

新しく地域づくり推進部を設置するが、なぜホームタウン推進室と国際交流室の名称をなくすのか。

組織の枠にとらわれることなく、柏の宝を外にアピールする方法を考えてもらうためである。

末永康文

●私立保育園の入れ

要領によれば入札業者は9社必要だが、実際に入札した業者は7社で、2社については辞退したような扱いで書類を提出

古川隆史

●マニフェスト

選挙時の公約には、2年以内に議員の口きを透明化するとのあるが、進捗状況は。

これについてはやめる。マニフェスト作成当時は、マスク報道に踊らされていたということ、大変反省をしている。

●我孫子市では、公職にある

者から受けた提言・要望等に対する事務取扱要領というものがあ、いろいろ要望等があった場合はすべて文書化する取り組みをしている。これは一つの考え方であるかと思うが、どうか。

現時点では、本市では導入しないということ考えている。

●市民との協働

地域づくり推進部の創設をいつ担当者に指示したのか。

昨年の12月である。

これだけ組織を大きく動かすのであれば、もう少し時間を

させているが問題はないのか。

●事実関係を把握して、適切な措置をとりたいと考えている。

●認可保育園設置が2年連続

同じ業者で問題はないのか。

24年度開設の保育園に同じ業者が入る。これは選定委員会で外部の方を含めて選定した。

●手賀の杜に小学校建設を

子供の教育環境づくりのため、教育委員会は任務を果たさねばならない。風早北部小を手賀の杜地区に移設して手賀西小と統合したらどうか。

提案は真摯に受けとめる。手賀地区の小学校は柏一、二の伝統校であり、地元の意見を尊重したい。



市民活動センター

●調整にはかなりの手間や時間が必要だということを途中で認識した。もう少し早く議論を始めていければよかったという反省はある。

●図書館行政

新中央図書館については白紙になったが、今後の方向性は、当面は新たな図書館整備は行わず、既存の本館及び分館を活用しながら、特にソフト面でのサービス向上に取り組んでいきたい。

無所属

上橋 泉

●行政の修繕計画

市長は市広報で、民間では施設の修繕計画があり、その費用を積み立てるが行政はしなと書いてある。例はあるか。

民間マンションのことを言ったものである。

●スーパー銭湯の下水道使用料の不正

全国各地のスーパー銭湯で、地下水の配管を不正工事し水道使用料を実際より少なく申告し、それぞれ数億円の下水道使用料を隠している例が報道されている。市でも市内のスーパー銭湯を調査してみてもどうか。

国土交通省からも指導が来ているので、調査してみたい。

村田章吾

●住居の耐震補強促進に向けて

阪神大震災では、1981年の新耐震基準の導入前に建てられた住宅に被害が集中し、多数の死者が出た。死者の7割以上が建物の倒壊により亡くなっている。市民による自宅の耐震改修を促進する政策を強化すべきと考えるが、どうか。

本市では来年度も、耐震診断については年間50件、改修は年間10件程度を上限に、補助金の支給を行いたいと考えている。また、耐震改修の重要性に関する啓発活動についても、関係団体と協議をしながら、さらに強化し、積極的に取り組んでいきたい。

宮田清子

●柏駅東口再開

財政難の中、民間が行う再開ビル内に消費生活センターなどをつくる計画だが、事業費や維持管理費などが公表されない。緊急性、必要性はあるのか。

駅前人が集まる場所が必要なので、検討している。

●公共施設の自動販売機

職員組合などの特定団体が設置し、業者から売り上げの一部をもらっているが、場所代も電気代も免除しているところが多い。市が一括管理し、入札すべきでは。また日本の自販機の消費電力は原発1基分である。公共施設から削減すべきでは。検討していく。

日本共産党

武藤美津江

●障害者施策

障害者のための7事業が廃止になった背景は。

参加者が少なく、代替的な事業が存在することである。

●利用者の声よりも、本市や指定管理者の都合で事業が廃止されたのでは。障害者の意向に沿って事業の継続を求める。

障害者、高齢者の立場に立った対応に向けて努力したい。

●土木事業

南柏駅入口交差点の拡幅について、信号待ちのスペースが狭く大変危険である。速やかな改善を求める。

●歩行者の通行スペースと歩道だまりを確保し、安全対策に努めていきたい。

日下みや子

●宅地開発での通り抜け道路

宅地開発で2メートルの歩行者専用道路を認めたい例は。

平成20年に1カ所認定した。

●風早北部小の教育環境整備を

28年度に風早北部小の児童数が1000名を超える。手賀の杜地域に学校をつくるべきではないか。

現在の校地を拡大して仮設校舎を建設する。

●体育館、運動場、水飲み場

トイレなどは対応できるのか。

これから、具体的に何がどうなるか積み上げて対応する。

●学校図書館指導員の拡充を

事業仕分けで現状維持とさ



保育料は近隣市の中では平均より高くなると予測されるが、受益者負担の適正化から必要である。認可外園への補助増額は難しい。待機児童は202名である。正規保育士は240名、臨時は297名となっている。正規保育士の確保に努める。

●保育行政について

所得税10万3千円の世帯と比較すると、本市の保育料は近隣市の中で一番高い。値上げ撤回と、祖父母と同居している母子世帯への配慮、また待機児童解消の一翼を担っている、認可外園への助成拡大を求める。また、現在の待機児童数と公立保育園の常勤保育士のうち、正規と臨時の人数の現状は。

●保育行政について

所得税10万3千円の世帯と比較すると、本市の保育料は近隣市の中で一番高い。値上げ撤回と、祖父母と同居している母子世帯への配慮、また待機児童解消の一翼を担っている、認可外園への助成拡大を求める。また、現在の待機児童数と公立保育園の常勤保育士のうち、正規と臨時の人数の現状は。

●保育行政について

所得税10万3千円の世帯と比較すると、本市の保育料は近隣市の中で一番高い。値上げ撤回と、祖父母と同居している母子世帯への配慮、また待機児童解消の一翼を担っている、認可外園への助成拡大を求める。また、現在の待機児童数と公立保育園の常勤保育士のうち、正規と臨時の人数の現状は。

●保育行政について

所得税10万3千円の世帯と比較すると、本市の保育料は近隣市の中で一番高い。値上げ撤回と、祖父母と同居している母子世帯への配慮、また待機児童解消の一翼を担っている、認可外園への助成拡大を求める。また、現在の待機児童数と公立保育園の常勤保育士のうち、正規と臨時の人数の現状は。

所得税10万3千円の世帯と比較すると、本市の保育料は近隣市の中で一番高い。値上げ撤回と、祖父母と同居している母子世帯への配慮、また待機児童解消の一翼を担っている、認可外園への助成拡大を求める。また、現在の待機児童数と公立保育園の常勤保育士のうち、正規と臨時の人数の現状は。

所得税10万3千円の世帯と比較すると、本市の保育料は近隣市の中で一番高い。値上げ撤回と、祖父母と同居している母子世帯への配慮、また待機児童解消の一翼を担っている、認可外園への助成拡大を求める。また、現在の待機児童数と公立保育園の常勤保育士のうち、正規と臨時の人数の現状は。